

芸術学部美術学科

中村賢次

Kenji Nakamura

美術学科 教授

専門分野

日本画

学会活動等

日展会員

京都日本画家協会会員

熊本県美術協会総務

熊本県文化協会会員

熊本県文化懇話会評議員

目に見えないモノの色とカタチ、音と匂いと肌で感じるナニカを表現することが絵画であるなら、静かにゆっくりと自然に溶け込んで行く時間の流れがとても大切。

日本画の勉強に必要なことは二つ。日本の気候風土や人の心の伝承によって受け継がれてきた日本の文化を理解すること。そしてそれを絵画というカタチにするための技術・技法を修得すること。画家とは職業ではなく、生き方として捉えた時に本物の大切なナニカに向かう旅が始まります。

PROFILE / ARTWORK

[中村 賢次 画歴]

昭和60年 日展初入選（昭和63年、平成6年に「特選」受賞）
 平成 元年 文化庁主催 現代美術選抜展
 2年 京都画壇日本画秀作美術展
 3年 京都知恩院山門天井画（狩野永徳作）修復に参加
 （平成元年より12年まで京都・奈良にて重要文化財の保存・修復）
 6年 平安遷都1200年日本画展（京都府主催）
 7年 現代京都の日本画展（京都府主催）
 8年 新鋭美術選抜展（京都市主催） 招待出品（平成14年同）
 10年 高島屋にて個展（平成26年同）
 14年 日展審査員に就任
 16年 「京の今日」展（京都府主催）
 18年 「ARS KUMAMOTO展」（熊本市現代美術館）
 20年 つなぎ美術館にて個展
 21年 熊本県文化懇話会「新人賞」
 日展「会員賞」受賞
 22年 「日本画二人展」（坂本善三美術館）
 23年 「黒船前夜挿画展」（島田美術館ギャラリー）
 東大寺より依頼を受け、東大寺前管長御影制作・奉納
 26年 「モンタルバン挿画展」（島田美術館ギャラリー）
 「琳派400年記念展」（京都府立文化博物館）
 その他 東京、京都、大阪、名古屋、他で毎年企画展等に出品

[日本画中村研究室の地域連携活動]

○西浦荒神総社宮の天井画・絵馬制作
 ○玉名・蓮華院四天王像彩色
 ○坂東玉三郎公演「藤娘」舞台背景画制作
 ○山鹿・さくら湯の天井画「双龍図」レプリカ制作
 ○多良木小学校「多良木の四季」制作
 ○阿蘇市・屋外壁画制作
 ○熊本県芸術祭。舞台道具制作（菖蒲図）
 ○玉名・安養寺の建造物彩色修復
 ○熊本市・石神社の絵馬修復



コロッセオの月



ヴェズレー



秋



夏の夜に舞う



虹立つ